

科学的な見方・考え方の基礎を培う指導計画例

(第2学年 単元「おもちゃランドをつくろう」)

○ 指導上の留意点

- ・ 遊びとおもちゃづくり（改良）を繰り返す行うことで、子ども自らが思いや願いをもって活動に取り組めるようにする。
- ・ 遊びやおもちゃづくり（改良）の中で伝え合い交流する活動が展開されるように、グループ構成や場作りを工夫する。
- ・ 体験した事象を自らの気付きとして表現している姿を科学的な見方・考え方の基礎が養われている姿としてとらえ、「その子ならではの気付き」を大切にする。

小単元	主な学習活動と意識の流れ	気付きの質を高める働きかけ	場の構成
動くおもちゃをつくろう 3時間	<p>1 身近なものでつくった動くおもちゃを見て、つくりたいおもちゃを決める。 ○ 風、ゴム、水、糸などで動くおもちゃ</p> <p>・いろいろなおもちゃが楽しそう。 ・作りたいな。</p> <p>2 身近なものを使っておもちゃをつくる。 ○ 同じおもちゃづくりをする子でグループを構成し、協力してつくる。</p>	<p>□ いろいろな動力で動くおもちゃを数種類、複数個用意する。 ただし、仕組みが分かるように、飾り付けはせず、シンプルなつくりにしておく。</p> <p>□ イメージ化させるために、簡単な絵に描かせる。</p> <p>□ グループで協力させることで、製作の負荷を小さくするとともに、お互いの気付きの共有化を図る。</p>	<p>主な試行錯誤や繰り返しの場</p> <p>・動くおもちゃづくりと遊び ↓ ・おもちゃの工夫と遊び ↓ ・幼児向けの工夫</p>
動くおもちゃであそぼう 2時間	<p>3 つくったおもちゃで遊び、遊び方の工夫をする。</p> <p>・もっと○○なおもちゃにしたい。 ・みんなで競争すると楽しいな。 ・どうしたら勝てるかな。</p>	<p>□ 上手に動かすコツに気付いた子の「～すれば・・・なる」という気付きを全体に広げていく。</p> <p>□ 遊びのルールづくりや場の工夫をさせることで、友達と遊ぶ楽しさや遊びを工夫する楽しさに気付かせていく。</p>	<p>主な伝え合い交流する場</p> <p>・おもちゃでの遊びでの交流</p> <p>・上手に動かすコツの交流</p>
動くおもちゃを工夫しよう 3時間	<p>4 自分のおもちゃを改良する。 ○ 自分のおもちゃの改良点を計画する。 ○ 計画をもとに工夫してつくり直し、遊ぶ。</p> <p>・もっと速くしよう。 ・もっと長く動くようにしよう。 ・きれいな飾りをつけよう。</p> <p>○ 改良したことや感想を発表し合う。</p>	<p>□ 遊びの中で、自分のおもちゃの改良点に気付かせる。</p> <p>□ 友達へのアドバイスができた子を賞賛し、お互いのおもちゃを比較しようとする意欲を高める。</p> <p>□ 自分のがんばりに気付くことができるように、カードに記入させる。さらに、カードを交換し合い、お互いのがんばりにも気付かせていく。</p>	<p>・グループでの製作での交流</p> <p>・遊びの紹介</p> <p>主な振り返り表現する場</p>
おもちゃランドを作ろう 4時間	<p>5 幼稚園児を招待して「おもちゃランド」で一緒に遊ぶ計画を立てる。</p> <p>6 「おもちゃランド」を作る。</p> <p>・遊びのこつを教えてあげるよ。 ・楽しんでくれるかな。</p> <p>7 幼稚園児を招待して遊ぶ。</p>	<p>□ 活動の達成感をもてるように、幼稚園児との交流を行う。</p> <p>□ 自分たちの遊びの体験を基に、幼稚園児も楽しめるような遊びにするために、おもちゃや遊びの工夫を考えさせる。</p> <p>□ 遊びの紹介の中に、遊びのこつを入れることで、児童の気付きをより確かなものにしていく。</p>	<p>・イメージ化のための絵 ↓ 発表・交流</p> <p>・カードへの記入とお互いのカードの交換</p>